

PL. XXVIII.

第二十八圖版

第二十八圖版圖解

第一圖 口之津區ニ於ケル鳳上岳、上原ヲ成ス正玄武岩ニシテ標式的玄武岩構造ノ石地中ニ唯一ノ斑晶トシテ橄欖石(O)存ス、橄欖石ハ時ニ破碎セラレテ粒狀ヲナス其一部ハ常ニ蛇紋化スルヲ見ル。

第二圖 口之津區西正寺ニ於テ岩心狀ヲナシテ産スル「カルボバサルト」ナリ、岩質完晶質ニシテ、石地ハ玄武岩式構造ヲナセド拍子木形斜長石(P)及ビ輝石(A)ノ發達著シク、又多少ノ淡褐色玻璃ヲ見ル、斑晶トシテハ肉眼の中晶以下ノ橄欖石(O)ノミニシテ時ニ多少蛇紋化セリ。

第三圖 口之津半島上部ヲ構成スル含輝石玄武岩ナリ、石地ハ玄武岩式構造ヲナセド副成分鑛物タル磁鐵粒比較的多量ニシテ、斑晶トシテハ橄欖石(O)ノ外屢ミ含「チタン」輝石ヲ産ス、橄欖石ハ比較的ヨク發達スレド常ニ多少蛇紋化セリ。

第四圖 口之津半島中、天狗松鼻ニ露出スル玄武岩ニシテ前者ト同一岩床ニ屬スレドモ、前者ノ磁鐵粒多キニ反シ、此岩石中ニハ輝石粒甚ダ多量ニ産ス。

第五圖 南串山區ニ産スル岩床狀含紫蘇輝石輝石アンデン岩ニシテ「ハイアロピリチツク」ノ石地中ニ斜長石ノ外輝石(A)及紫蘇輝石(Hy)輝石ヨリ少量ノ斑晶ヲ有ス副成分トシテハ時々、融蝕作用ヲ受ケタル角閃石及磁鐵粒ヲ見ル。

第六圖 北島原溫泉火山群ノ基底鑛岩ヲナス所ノ含橄欖石紫蘇輝石アンデン岩ニシテ標式的「ハイアロピリチツク」石地中ニ斑晶トシテハ多量ノ斜長石(P)ノ外紫蘇輝石(Hy)アリ、副成分鑛物トシテハ磁鐵粒ノ外甚ダ屢ミ岩漿融蝕作用ヲ受ケタル角閃石ヲ産ス。

第七圖 溫泉火山群ノ基礎鑛岩ニシテ前記(第廿八圖版第六圖)鑛岩ト同一岩床ニ屬スレド該鑛岩流ノ末端附近ノ戸竈瀑ニ産スルモノナリ、斑晶及ビ石地ハ前者ト同一狀態ヲナセド時ニ單斜輝石ヲ見出ス、副成分鑛物トシテハ著シク融蝕作用ヲ受ケタル角閃石(H)ノ外、重力作用ニヨリテ鑛岩流ノ此部分ニ集結シタル橄欖石(甚ダ屢ミ蛇紋化ス)ヲ含有ス。

第八圖 眉山ノ基底鑛岩タル含橄欖石兩輝石アンデン岩ナリ、「ハイアロピリチツク」ノ石地中ニハ斑晶トシテ斜長石(P)ノ外殆ド等量ノ兩輝石(A及Hy)ヲ含有シ、副成分鑛物トシテハ苦土ニ富メル橄欖石アリ、橄欖石ハ粒狀ヲナセルモノ多ク、變化物ハ常ニ無色ナリ。

圖二第

圖一第

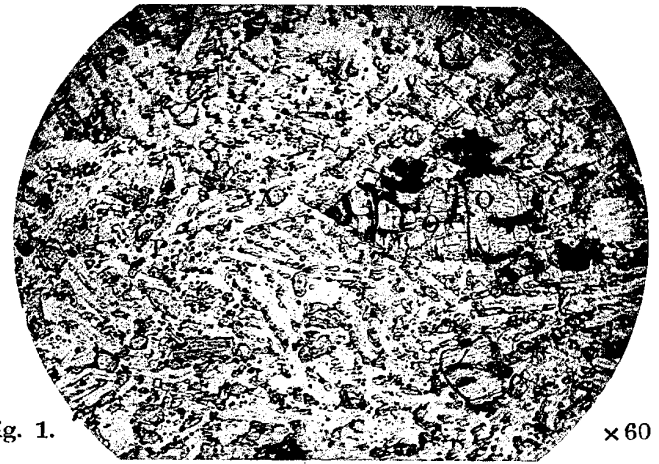
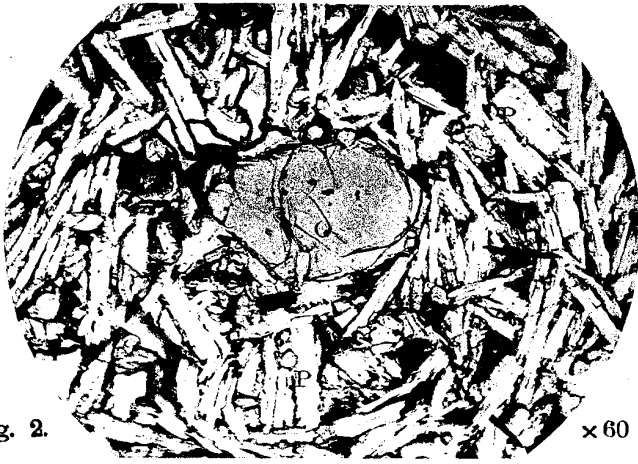


Fig. 2.

×60

Fig. 1.

×60

圖四第

圖三第



Fig. 4.

×60

Fig. 3.

×60

圖六第

圖五第

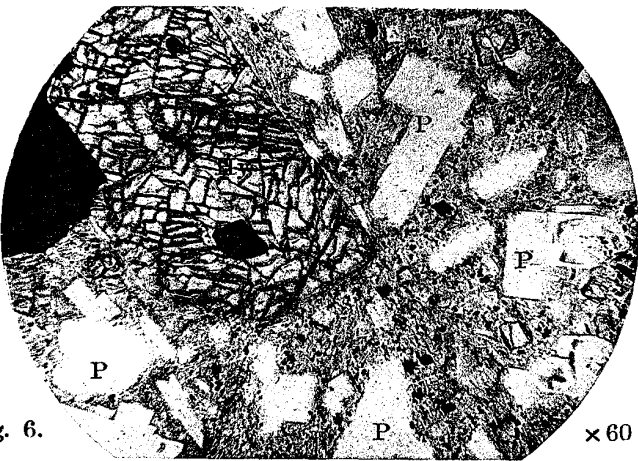


Fig. 6.

×60

Fig. 5.

×60

圖八第

圖七第

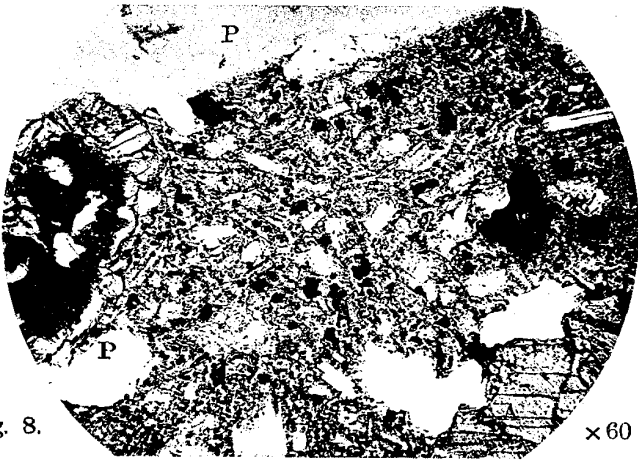


Fig. 8.

×60

Fig. 7.

×60